

御所見通信

2018年9月28日

10月号

藤沢市立御所見小学校

校長 三橋 雅幸

“成長の秋”にしよう

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、行楽の秋、収穫の秋…と、秋は何をやっても気持ちのよい季節です。

御所見小でも“行事の秋”と言いたいくらい大きな行事が続きます。修学旅行に始まり、運動会、八ヶ岳体験教室、遠足、御小まつり、5年生の音楽会と大きな行事が続きます。

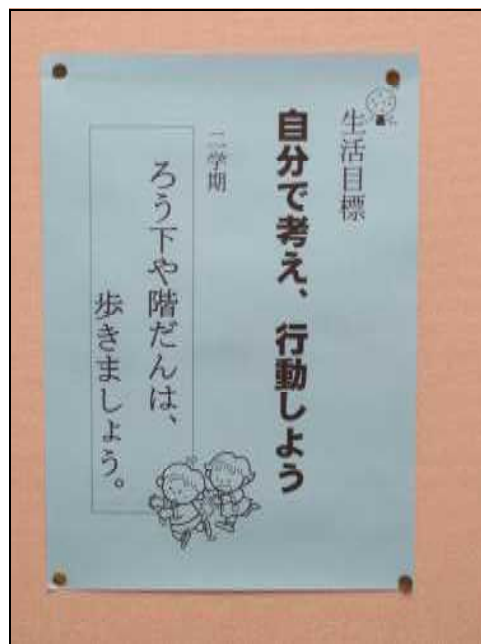
大きな行事は、準備に時間がかかりますが、一人ひとりが大きく自分を成長させることができる絶好の機会でもあります。

例えば運動会の組体操。はじめはうまくできなくても、友だちと協力して力いっぱい練習した経験は、本番に向けての不安を消してくれます。そして、当日は演技に対して大きな自信をもって、取り組むことができることでしょう。もし、何かがあって、当日思い通りにいかなかったとしても、一生懸命に取り組んできた姿勢は、見ている人に伝わりますし、感動を与えてくれます。応援席から起こる大きな拍手は、それまでがんばってきた努力が観衆に伝わり、認められた証拠なのです。

運動会の種目には、友だちと協力しなければできないものが大部分です。綱引き、タイフーン、リレー、ダンス、鼓笛ドリルなど、どれも、力を合わせて心を合わせて取り組まないとうまくできないし、勝つことができません。一人ひとりが自分の思いで取り組むのではなく、目標に向けて、どうやったらうまくできるか考え、心をつちにして取り組むことが必要です。結果ではなく、取り組む過程が大切だと考えます。

他の行事でも同じです。目の前の課題に対して、まずは、自分で考え、行動してみる。はじめはうまくできないかもしれないけれど、試行錯誤を繰り返し、友だちの助けを借りて克服できたときには、きっと大きな自信になりますし、次の活動への原動力ともなることでしょう。

御所見小学校の今年度の生活目標は、「自分で考え、行動しよう」です。苦手なことやうまくできないことに、友だちとがんばって取り組み、課題を克服できたときに、一回り大きくなれるのではないのでしょうか。行事を通して、今年の秋を“成長の秋”にして欲しいと願っています。



廊下に掲示してある生活目標